【1】日刊「除月曜」昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月17日 運輸省特別扱承認第684号　磐城日日　昭和28年 1953年 7月11日（土曜日） 第880号

磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町消廻51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

募集
印刷工（經驗者）
小名浜町
長瀬印刷株式會社
TEL219・387

豪雨被害意外に發展
"河口堰をこわせ"
農民、許をまたず撤去作業

小名浜町舊玉川耕地一帯の水田は連日の雨に一面冠水して湖沼と化して終つたため 農民はこれが排水作業に懸命の努力を續けているが玉川耕地帷一の灌漑排水路である藤原川の河口（泉町下川字神笑地先）に縣は一昨年月二百万の巨費を投じて堰を設け河口排水口を變更した爲排水が悪く、大原地内に新設された排水溝は藤原川の水面が高くなつているため逆流すると云う現象も生じ、農民は死活の問題であるとして、藤原川口の堰撤去を關係当局に要望して來たがラチがあかず、何時止むとも知れない雨に激昂した農民は十日午前八時大挙現場に押しかけ破壊作業を行うと云う最悪事態にまで進展して終つた問題となつた藤原川の河口は、常磐炭礦の汚水など礦毒のために貝類、魚類が死滅減少して終い下川、剣ヶ浜の漁民に脅威を與えるに至つたため縣当局は泉町の要請により二百万の巨費を投じて神笑地先に堰を設け、排水口を新設したものであるが、ために藤原川の排水が悪くなつた感が強く昨年も問題となり、小名浜町では縣に對して対策を要望して來たがラチがあかずまた／＼雨季を迎えるに至り、當局の手ヌルい交渉に待ちきれず直接行動をとつたものであり撤去作業に驚いた泉町では町長、助役以下議員らが現場に出動して激昂している舊玉川部落農民の慰撫に努めたが効かず、小名浜町に於ても議長、經濟委員らが各部落代表斎藤元代議士らをまじえて小名浜町役場町長室に緊急對策を協議したが、結局縣に對して强力陳情を行い早急なる撤去方を要請することになり現場に急行、農民の説得に努めた結果、それを諒とし「町当局が責任をもつて解決すること」を午前十一時條件に撤去作業を中止することになり、成行きが憂慮された堰破壊問題は一時見送りの形となつた

"税金が俺達を殺ろず"
何が増産かと激する農民

この問題に関し關係者は次の如く語つている

【農民代表某氏】吾々は去年からこの撤去方を要望しているにも關らず、当局は言を左右にして未だに何の對策もない、こんなものが出來たために吾々の水田は水浸しであるが増産だ何だ彼だと口先だけの掛け聲でこの仕末は何だ、吾々の血肉の税金が吾々を殺ろすために使われているようなものである、吾々には死活の問題である官廳がやらないから吾々が生きるためにやつた迄だ

【泉町吉田助役】藤原川による利害關係は泉も小名浜も同じである、私達が見たところではこの新河口によつて排水は良くなつたと思つている、これはこの土地のものが良く知るところであるが、小名浜の人々は事実を感違いしているように思う、とにかく小名浜とも協議の上、共に早急に善處方を要望したい

【小名浜町長瀬議長】この問題は昨年來私達も縣に對して善処方を要望して來たのではあるが、こんなことになつてしまつた 今日泉町の町長、助役議長さんなどとお話合いして種々意見を交換して來たが談合の上、急遽出縣して撤去方を要望したいと思う

警察、捜査に乗出すか

激した農民の直接撤去作業の報に接し驚いた小名濱地区署では鈴木署長、三瓶警部らが現場に急行十日午前八時半頃から午前十一時に亘つて行われた約八十米の堰破壊作業の實況を具に視察したがその處置に困惑し縣本部並びに縣土木本部に問い合わせを行つており縣本部の指命如何によつては撤去作業に従事した農民の檢挙も予想される

合併問題
如何に出る小名浜
町議会協議会で對策

鹿島合併問題は、去る八日鹿島村議会協議會に先行して湯本町矢吹町長ら町幹部數名が鹿島を訪問合併問題の利害得失を湯本側から力説した事により愈々急を告げて來たが小名浜町でもこれに對し市制施行成るか成らぬかの乾押一擲をかけての方途を協議するため十日午後一時から公民館ホールに町議會協議會を開き、協議を重ねた 湯本、小名浜の町民はもとより鹿島村民が四年來の合併問題をひつさげてこれを如何にさばくかは石城は勿論、弱小町村の合併促進を晝している縣下の町村に一つのモデルケースとしても注意深く關心をもつて見つめるところであるが、大体の空氣は小名浜合併に傾くのではないかと見られている

泉臨時町会
十日開かる

泉町の臨時町議會は十日午後三時より町役場会議室に開催した 審議された議案は次の通り

①公民館條例改正の件（町管理が教育委員会管理となる）
②議会代表監査員（二年任期滿了のため）改選の件
イ、都市計畫に關する件
ロ、工場誘致運動の件

スト制限反対大会延期

平共斗会議では十二日午前十一時から平駅前で、スト制限法反對々地區總蹶起大会を開く同大会は去る五日に豫定されていたが、都合で延期されたもので相当の盛会が豫想される

錦町工場誘致に積極
吾が町こそ最良の工場地

錦町では七日午後一時より町役場會議室に協議会を開き、常磐總合開發に伴う工場誘致の問題について檢討した 現在錦町は吳羽化学の大工場を所有しておりその發展は實に目覺しいものがあり鮫川の水利と擴大な敷地をもつ錦町は工場誘致の最も好適な地位にあることから強力に誘致することを全員万場一致で議決、九日高木町長山崎議長、赤津土木委員長等各常任委員長が出縣、大竹知事、蓮沼議長、星赤津、澤田、大井川、小野等各地元縣議と接挨、いよいよ本格的な運動を開始した

教委長會議
（湯本地區）

湯本、内郷、磐崎の二町一村の教育委員長合同会議は十日午前九時半から湯本町公民館で廿七年度人事異動の經緯について反省会を行つたのち、次の協議を行つた △教科書採擇について△学制八十周年記念事業について▽西日本水害地議捐金募集について▽廿八年度後期行事計画について

衛生講演並に巡視会
植田保健所

植田保健所（所長青田淡夫氏）では六日より十二日まで行われる食品衛生赤痢予防対策週間の行事として九日午前十時より管内（植田、錦、勿来、山田、田人、川部、入遠野、上遠野）の婦人會役員約百余名を植田保健所会議室に集め食品衛生の諸事項について詳細に説明、終つて植田町内の優良店、美登利、錦水、辰見屋、赤津肉店、内田屋菓子店など各業種別の指定された模範店舗の案内で視察した また期間中保健所では廣報車を繰り出し卓野、根木氏等各係員が同乗して管内を巡回、食品衛生と赤痢予防の万全を期している

縣経済委浜通り視察
十三日から石城郡下へ

縣議会開会中の田原經済委員長ほか十二委員、坪井經済部長ら一行は浜通りの経済事情の調査をきよう十一日から來る十五日まで行うことになつた 一行は十一日原釜港の視察をトップに中村漁業協同組合など双葉、相馬両郡の沿岸の漁業關係及び事業場などを視察して十三日から石城郡下一円を視察する、日程は次の通りである

▽十三日…江名漁業協同組合
▽十四日…水産試験場（特に罐詰工場）小名浜漁業協同組合、日本水素工場、製鹽工場
▽十五日呉羽化学錦工場 常磐炭礦湯本礦業所、品川白煉瓦湯本工場

品質本位 新柄の店
樋口呉服店
小名浜町 電三〇四

洋傘専門
高野昌平商店
小名浜町中島

=11日マデ=
風雲児
大菩薩峠
上映中★
金美館★

純毛洋服専門
生地よし……仕立よし……デザインよし……着心地よし
大井洋服店
福島縣 小名浜町 TEL630
茨城縣 太田町 TEL531

小島の運動靴

緑
味も香てこのうまさ
小名浜町 電29
緑屋醤油醸造場
志賀要平

國産メーカーを代表するミシン
ブラザーミシン
トヨタミシン
パインミシン
月賦販賣月払（2.000円）
10年間無料修理責任保証、御求めの際は当店で御相談下さい
★開店記念特別奉仕★
株式会社 石川ミシン商会小名浜支店
古港（スヤ向） 電話466番

★10日～16日迄 ……土日奉仕……
大丸大黒屋提携新發足記念 大黒屋連鎖店全店中元大奉仕★
★御贈答用品・お中元用品豊富に取揃へました。今年も何卒御用命下さる様お願ひ申し上げます★

プリント大會
☆新安値発表に依る新柄
数百種を取揃へました
リツプルプリント……98円
シヤンソンエバ……98円より
正式ミラクルエバ……150円
PKプリント……85円
MKプリント……69円
蜂巣プリント……95円
ブロードプリント……120円
その他大量陳列即賣会!!

磯浪ゆかた・主婦の友ゆかた
宣傳即賣大会
◎連續4年大臣賞に輝く磯浪ゆかた1000反總陳列と特別奉仕品白樂天ゆかた
☆海水着陳列
☆夏の婦人小供服陳列会
その他御贈答用品各種
於 大丸大黒屋

全店ホワイトセール
（もめん白生地奉仕会）
10000番三桃キヤラコ……93円
三角地球キヤラコ……88円
2023未晒 三巾和晒……69円
☆オール白生地特別提供☆
お中元お名入れ
承り申し上げます

★御用命は……
平本店（TEL 219）
平支店（TEL 134・793・1673）
大丸店（TEL 898）
金坂店（TEL 呼出し1517）
小名浜店（TEL 310）
湯本店（TEL 315）

贈つて便利 受けて重寳
商品券
200円より調製

皆様の利益を護る店
大黒屋

アマゾン入植は不賛成
ブラジル移民に警鐘
佐藤氏(泉町出身)本社に現況寄す

▽狭い國土に八千六百万の過剰人口を擁しその對策は國家社會的大問題として政府はこれに腐心して来たがブラジル政府の好意により海外移民は華やかな前途を祝福され第一陣、第二陣と續々壮途についているが二十年前渡伯した泉町出身の佐藤一平氏はブラジルの現況をこの程本社長瀬社長宛次のような一報を寄せて來た△

佐藤一平氏は泉駅前に生れ青雲の志に燃えて渡伯艱難辛苦はその実を結び現在サンパウロに幸福な生活を営んでいる

皆様御健康にてお暮しの事と存じます、毎日毎日磐城日日新聞の御送付に預り、有難く御禮申しあげます

今日は一九五三年五月二日、私の在伯十九年サントス港到着の記念日です

四月二十九日天皇御生誕の日を祝した新聞に漁業の活字が出ておりますので御地の様な漁業地の参考になるかと思い、切り抜きます

また御紙に「当縣のアマゾン移民は八十名の割当とありましたが、私はあまり賛成しません、マットグロッソ州の松原安太郎氏扱いの移民の方が希望的です そのうち詳しく調べて送ります

この通信によると華やかに壮途についたブラジルのアマゾン移民も現況はあまり香しいものではないらしく、政府その他關係当局の慎重な現地調査が要望される、また移民にあたつても現地の正確な情況入手は最重要事ということになる

(續)日本の人々も政權慾の人々(政治家)の道具に使われぬようしつかりやつて立派な日本を再建して下さい 吾々も世界六十余國の外國人の中で清よく正しく努力を致しますから

と切々と愛國の情を送つている

なお佐藤氏は泉町泉歯科醫佐々木三郎氏に親書を寄せてブラジル移民の樂觀をいましめている

泉農業委会 十三日開く

泉町農業委員會は十三日午後一時より次の審議事項により町役場会議室に開かれる

①農地法第三條第一項の規定に依る許可申請書
譲渡人 田山源之亟
譲受人 田山 隆司
農地の所在……同町黒須野及び下川の田地

②譲渡人 上遠野 満
譲受人 山崎運次郎
農地の所在……全町滝尻田地

警察消防協議会結成
玉川植田署長が會長

植田地區警察署管内(植田、勿来、錦、山田、田人、川部、上遠野、入遠野、渡邊)の消防團長、副團長会議は九日午後三時より植田地區警察署会議室に於て開催した

先づ久保木支部長、玉川植田地區署長の挨拶があつて議案第一号警察消防協議会設立の件については警察と消防との連絡を密にし防犯、防火の万全を期すためにも同協議會の結成は欠くべからざるものがあると各團長賛意を表し会長に植田地區署長、副会長に鷲文治氏(植田)久保木康雄氏(渡邊)が決定した

次いで第二號議案、先の菊多地方連合検閲の總合成績は植田町消防団が優良消防団として縣支部より晴れて選衡された

第三號昭和二十八年度消防分担金納入、第四號協議会員罹災の救助金の発足、第五號議案ポンプ性能試験を八月二日植田小學校に決定、午後四時閉會した、終つて富久綮に於て懇親会を開いた

日銀藤井次長 漁業金融視察

日銀福島支店藤井次長は十日午後三時ごろ漁業金融面の視察のため小名浜町を訪れ日本水素工場を視察した後小名浜地区漁業協同組合で漁業者らと懇談会を開いた

大日本炭礦四澤に新坑
予算三億で近く着工

大日本炭礦勿來礦業所(所長鈴木本一氏)ではこの程勿來町四澤地内に新坑をおろすことになり町当局に同地内十町歩(田圃二町歩、山八町歩)の敷地の斡旋方を依頼していたが當局の熱意ある協力で四澤地内に前記十町歩の敷地を買収した

同工事は總工費三億円の巨費で着工するわけだが完成までには相当の日數がかゝる大工事である

全國安全縣下大会盛大

第二十六回全國安全大会縣下大会は九日午前九時より平市公会堂に約四百名の各關係者ら参集のもとに宇治縣安全連合会長をはじめ青山地區協会長勞働基準局長などの挨拶があつて、次いで労働大臣並びに勞仂基準局長の表彰状授与式が挙行されつゞいて今春二カ月の予定で欧米諸國を具さに視察した日本水素工業KK照井常務取締役の「歐米の工場経営について」と題する講演があり聴衆に多大の感銘を與え、常磐炭礦勞組支部長佐藤重藏氏の「組合活動からみた安全管理」について有意義な研究發表があり、夕刻から常磐炭礦ブラスバンドの奏でる音樂とバレーの夕などが盛会に催された

ポン中男、恐喝で送検

小名浜地区署では町内橋本一三無職馬上兵一(二一)を恐喝罪で取調中のところ九日身柄を送検した

馬上は去る六月十四日午前十一時ごろ町内中明神町の某パチンコ屋で遊戯中の町内古港一九四漁船機關士高橋末計君(二五)に「金を出して見ろ」と恐喝して五百円をとつたものである、馬上は一定の職業も持たずに無銭徒食ヒロポン中毒など街のダニと嫌われていたもの

美顔とパーマは
本田美容室
小名浜町

天氣豫報 11

【本日】東の風、朝夕は小雨があるかも知れませんが日中は曇の天氣でしょう
【海上】一両日東寄りの風、多少風波が起り見透しが悪くなりますから御注意下さい

魚菜市況 10

【小名浜魚市場】あぢ七〇いなだ二八〇かつを三五〇いか一五〇きわだ鮪三三五〜三六〇
【中央青果市場】卵一、一〜一一、七〇大根二〇〜八〇玉菜四八〜六六玉ねぎ二二〜三五ねぎ六八〜七〇馬鈴薯一〇〜四六茄子二〇〇〜二五〇きうり三〇〜八五南瓜四五〜八五人蔘三七〜六五なた豆一四〇〜一八〇トマト一八五〜二七〇牛蒡二五一らつきよう九五〜一〇五

あじ大量水揚げ

十日朝小名濱港魚市場に「鰺」五千貫が水揚された、濱相場は貫当り百円であつた これは同港沖の大敷などによつて獲れたもので出荷先は縣外に向けられた

何が迷信であり 何が迷信でないか

木々小太郎

文部省に迷信調査協議會というものが戦後設けられ、國内の迷信の實態を調査して、迷信打破に貢献しているようである、この調査協会で出版した「迷信の實態」は、廣く各地で行われているとの種の俗信や、習慣を集めている点で珍重すべき報告書である

迷信の中には全く迷信という以外になんの價値もなく、國民生活に害毒を流しているものもある

しかしまた一方には迷信だと思つていたことが意外な科学的根據を持つていることもある、生活慣習の中に長年生きつづけて來たものの中にはそういう種類のものが必ずしも少くはない

だから一概にすべて迷信として打破し去れないものがあるわけだ、生半可な知識で、すべてを迷信として追放してしまうととは、農山漁村などに残つている生活の味わいの深さをぶちこわすことにもなりかねない、といつて現狀のままでいいかとなると、そうも行かず、何が迷信で何が迷信でないかの判定はなかなか難かしい問題である

調査の對象となつた故人宇野円空博士の「民間呪術者」をはじめ「農漁業の迷信」等例えば「種まき時に神を祭りますか」とか漁業の船靈(フナダマ)様や「かげぜん」云々——

これらの取扱い方は慎重な検討を必要とする、自然科学者と人文科学者とでは、迷信に對する態度が従来しばしば正面衝突したようである

例を「船靈様」にとつても海を神格化し、漁民が船靈様を敬けんに祭るのは果して迷信といえるかどうか

「迷信の實態」には全國的に約千種が整理されているが、これらを迷信とするならば民間信仰として水神、山神などとの間に、どこかで一線を引かないと混乱をひき起す危険も少くない、めい信調査問題は出來るだけ詳細に廣く行うがいいが調査の結果については、自然科学者は勿論として歴史家、民族学者その他の廣い有識者による検討が必要ではあるまいか

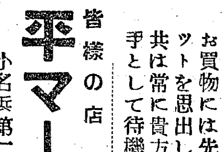
丙年のような言傳えは問題にならないめい信で、それがため一生を不幸にした女性も案外多かつた 病氣が祈禱で治るはずはないし、眼病が神佛に供えた汚水で治るはずもないのみならず、次から次へと危険をはらんでいるこんなのは是非追放してしまわねばならない、同時に実害に伴わないもので、その地方の習俗に獨得のうるおいを與えているようなものは残しておきたい、これは明白に區別さるべきものだが、何がめい信で何がめい信でないかは一般の知識水準が高められ、科學教育が普及しただけでも解決出來ない場合もあり、問題は極めて複雑困難である 各位の意見を聞う

開店
婦人、子供服専門店
どうぞ御来店御覧下さい
箱崎洋装店
小名濱町上横町(ボレロトナリ)
電話呼五八〇番

★カンバンと塗装
技術本位の当店を御利用下さい
各種看板製作
一般塗装工事請負
金星座通り
サイトウ塗装工業所

一九五三年新型車
小型自動車(二、三輪)展示会
各種中古小型自動車 即賣会 開催!!
日時 七月二十一日(港まつり第二日) 自八時至十七時間
場所 臨港小名浜駅南側廣場
参加車名
三輪車之部 サンカー みずしま ジャイアント ダイハツ くろがね オリエント マツダ
二輪車之部 陸王 トーハツ ライナー トライアンフ ラビット メグロ ホンダ アリエル ジュピター BSA キャブトン ポインター ヨンマーク ボッシュモーター キーリント
尚当日各当該車の専門技術員の無料サービスを致します
主催 日興モータース商会
後援 福島縣濱通自家用自動車組合
〃 磐城日日新聞社
小名浜町 宮下商会モーター部
小名浜町 植木モータース
小名浜町 大野自動車整備工場車輛部
小高町 三和自動車商会
平市 向原モーター商会
平市 千葉タイヤー商会
平市 福島ライラック商会
平市 東北サンカー商会
郡山市 マサゴ商会
郡山市 福島くろがね商会
郡山市 旭自動車工業株式会社
福島市 柴田産業有限会社

外科 内科 性病科
草野醫院
草野道平
野間正
小名浜町中島(電話局隣)
電話小名浜九九番

經費をかけずに良い品安く
ゆかたとかやの季節
かや、太綿、片麻、本麻
東京本染ゆかた各銘柄品
パラソルと洋傘学童用傘
レインコート絹ビニール
男女雨靴運動靴サンダル
丸首メリヤス女性着各種
婦人帽パナマ帽ミルキー
開衿シャツ替ズボン特價
化粧品柳屋メヌマ ジュジュパピリオ 80円
野球卓球庭球用品各種
海水着海水パンツ海水帽
菓子切手葉書印紙たばこ

お買物には先づ平マーケットを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
皆様の店
平マーケット
チケット歡迎
小名浜第二小学校前 電二九七